

(11) 土屋原

(宇陀郡御杖村土屋原～桜峠)

村名は垂仁天皇の皇女、倭姫命(やまとひめのみこと)が天照大神鎮座の地を求めての旅の途中、宮の候補地として自らの杖を残したという伝承に由来する。多くの伝承から「神の御心に叶う」といわれた街道は約14kmにわたって村内を東西に通っている。



**95 春日神社の
ラッパイチョウ**

普通の葉に混ざり筒状の葉が着生することから名づけられた。見頃は11月中旬



96 堂前の道標

「南かばた 世話人藤助 左いせ 右はせ」南へ川を遡ると講取峠を越え和歌山街道へとつながる



北京越え

古くから利用された生活道路で曾爾へは最短コース

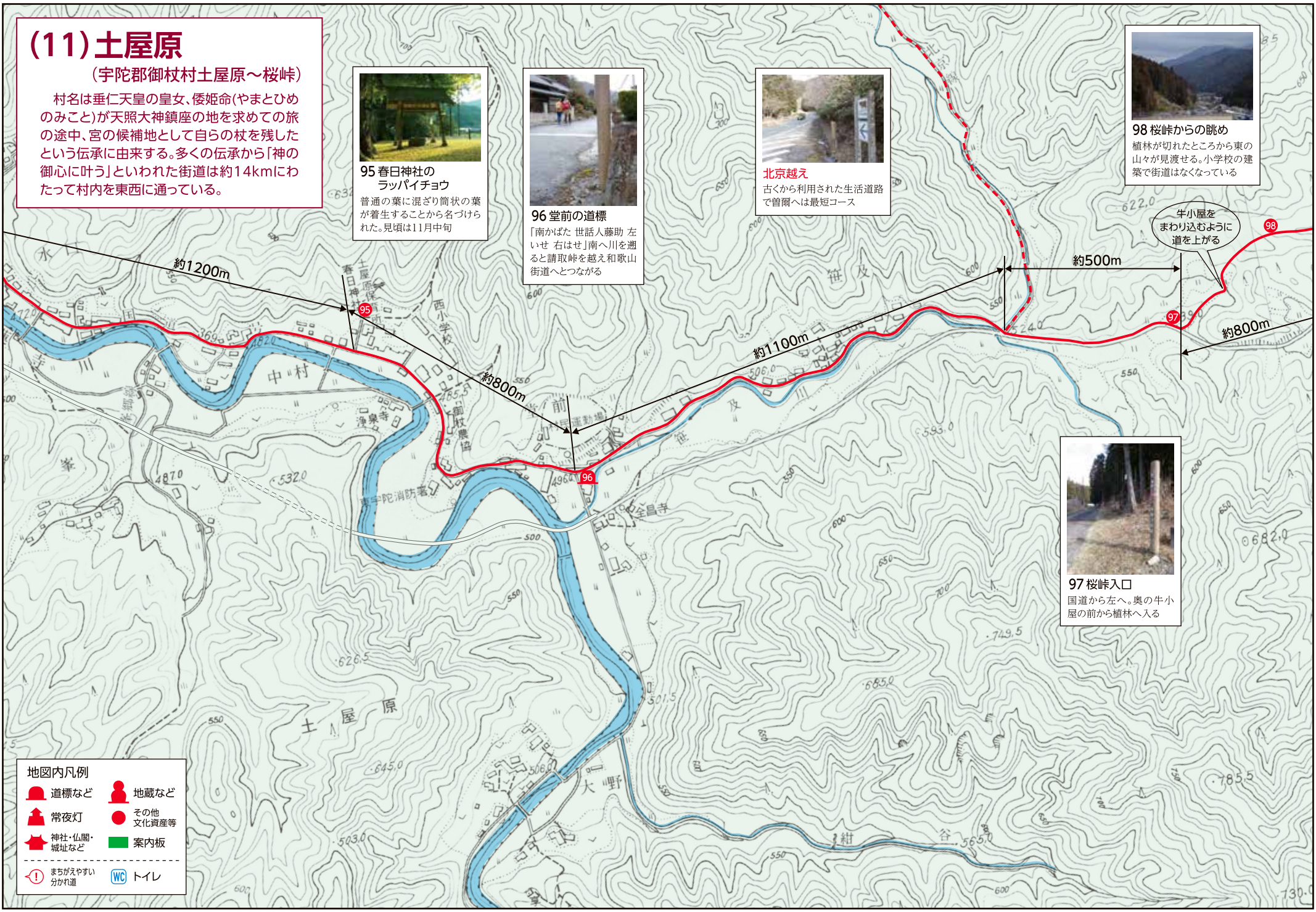


98 桜峠からの眺め
植林が切れたところから東の山々が見渡せる。小学校の建築で街道はなくなっている



97 桜峠入口

国道から左へ。奥の牛小屋の前から植林へ入る



地図内凡例

	道標など		地藏など
	常夜灯		その他文化資産等
	神社・仏閣・城址など		案内板
	まちがえやすい分かれ道		トイレ